

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームごえくの里

作成日 : 平成 24 年 12 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	14	便器がローカ側に面しているにも関わらず、馴れ合いになり、排泄時カーテン1枚のみ閉め介助する。薄く影が見える状況にある。又使用しない時はオープンにしてある。	排泄介助時やトイレ使用以外でも、排泄場所がローカ側から見えないようにし、入居者の尊厳やプライバシーに配慮したケアに努める。	風呂場とトイレの入口(ローカ側)に目隠しのカーテンを設置し、目隠しができるようにすると共に、活用されていない短のれんを撤去し、日々職員間でも声かけ合い、入居者の安全且プライバシーの確保ができるようにする。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。